

**【施策評価調査】**

施策名	2-4-3	食育教育の推進		92	施策目的 食に関する知識を学ぶ機会を提供することで、肥満症や生活習慣病の若年化の防止になる。四季折々の食材を使って食卓を飾るという、日本本来の食文化子ども達に伝えていくことで、食の大切さを学ぶとともに地域との交流深める。
		※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部 こどもみらい課	担当 リーダー	児童福祉担当 横塚 恵子		
環境変化					施策内容 食べ物を大切にする教育や、食の安全性と栄養に関する学習機会を、保育園や児童館、学童保育所を通じて提供し、食育教育の普及を図ります。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

**■指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①: 保育園農園体験年間開催回数(回)	平成16年度	計画	21回	28回	35回	35回	36回
	0回	実績	↓ 14回	↑ 38回	↑ 40回	↑ 42回	
指標②: 乳幼児・児童の食育指導年間開催回数(回)	平成16年度	計画	15回	18回	25回	27回	28回
	11回	実績	↑ 38回	↓ 17回	↓ 21回	↑ 31回	
◆◇ 指標に関する特記事項 ◇◆ 乳幼児・児童の食育指導年間開催回数は、「身近な食材を使った簡単レシピ」を作成し配布することに力を入れたため少なくなっている。							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	427,900	546,000	735,000	
	決算	0	272,799	467,906	300,000	

**■事務事業事後評価 21年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか? (アウトカム)			
① ぼくらの“食いく”事業	当初 735,000	提案採用機関数	B	事業費補助を行った園では、子どもたちが農作物の栽培から収穫、料理までのプロセスを体験し、食の大切さを学ぶ機会に恵まれましたが、未就学児童に対する食育という観点からすると、十分な成果とは言えません。			
	決算 300,000	3園 / 9園		今後の方向性(自己評価)	廃止	今後の方向性(総合評価)	廃止
②	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

**■施策事後評価 21年度の検証**

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	他事業との連携も含め、施策目的の再確認が必要と考えています。施策の対象範囲を明確にして、指標も再設定します。	「食育・地産地消推進計画」に基づく庁内プロジェクトチームと、食育・地産地消推進委員で再度協議し、具体的な手段を確認したいと考えています。
総合評価	こどもみらい課の立場から未就学児に対する食育推進として施策展開されたことを評価する。ただし、他課などが行う他の食育事業との連携も含め、どの年代にどういった狙いを持って施策展開していくのか、「選択と集中」を見極めた食育推進の施策展開を検討すること。	